

テーマ：『 身近な県境とコミュニケーションを図り、環境を大切にしようとする子どもの育成 』

横浜市立 太尾小学校

Tel. 045-541-7651 担 当 常 田 幸 江

者：



#### ■実践内容：

太尾小学校では、3・4年生の総合的な学習の時間や理科の学習を通して、まちの自然を調査したり、校舎壁面にグリーンカーテンを設置して、その効果を調べる取組を行った。自分たちの身の回りには、鶴見川や太尾緑道をはじめとした豊かな自然が残されていることや、それらを破壊から守ろうとしている人々の活躍を知ったり、グリーンカーテンの設置によって、室内の温度が1～2度下がることを調べたりした。

#### ■実践成果：

これらの実践をとおして、自分たちがすむまちの環境に目が向くようになり、自分たちにできる取組を行っていこうという思いが育った。子どもたちは、自分たちがすむまちの温暖化による影響についてより深く追求していこうと、継続的な観測を続けている。

#### ■実践ポイント：

地域の川や公園にでかけたり、自分たちで植物を大切に育てたり、体験活動を通して身近な環境や環境問題を実感を伴ってとらえられるようにした。また、自分たちが住む港北区が市内でいちばん平均気温が高いという事実と向き合わせることで、環境問題を身近な問題ととらえられるようにした。今後は、気象観測システムを充実させ、子どもたちの 継続的な観察をバックアップしていきたい。

